

「小腸癌診療ガイドライン作成委員会」第 1 回会議 議事録

開催日：2026 年 7 月 2 日 15 時 10 分～15 時 40 分

場所：広島コンベンションホール（第 3 会場・大ホール）

委員長：岡 志郎，副委員長：小林宏寿，アドバイザー：橋口陽二郎

事務局：壺井章克

出席者：岡志郎，大塚和朗，中村正直，千葉秀幸，壺井章克，小林宏寿，松田圭二，秋吉高志，江本成伸，高島淳生，澤田亮一，河内洋，羽賀敏博，伊藤芳紀，橋口陽二郎

欠席者：梶原由規，山口研成

【報告】岡委員長

小腸癌診療ガイドライン作成委員長を拝命した旨の挨拶があり，各委員への就任承諾に対する謝意が示された。

■ 小腸癌診療ガイドラインに関する説明

2025 年 7 月に発刊された小腸癌取り扱い規約の成果を基盤として，小腸癌診

療の標準化および診療の質のさらなる向上を目的に、「小腸癌診療ガイドライン」を作成する方針が確認された。

当初は「小腸癌治療ガイドライン」として検討されていたが、治療のみならず診断を含む診療全体を対象とすることから、「小腸癌診療ガイドライン」とする方針が説明された。

■ 小腸癌診療ガイドライン作成委員の紹介

委員およびアドバイザーから自己紹介が行われた。委員 16 名およびアドバイザー1名の計17名体制で、ガイドライン作成を進めることが確認された。

【議題】

■ SR 委員の設置について

委員に加えてシステマティックレビュー (SR) を担当する SR 委員を設置する方針が説明された。SR 委員の設置については上野会長の下承を得ており、完成したガイドラインへの氏名掲載も可能であることが報告された。各施設から 1～2 名程度の SR 委員を推薦いただくこととし、事務局より今月末を目途に依頼する。推薦された SR 委員はメーリングリストに加え、委員とともに情報共有を行う。

■ ガイドライン作成スケジュールについて

作成期間は約 2 年半とし、2029 年 1 月の発刊を目標とする方針が示された。

次回委員会は 2027 年 1 月頃を予定し、それまでに CQ・BQ 案を作成することが確認された。

BQ の設定について意見交換が行われ、診断、病理、疫学などの基礎的事項は BQ として整理することが有用との意見が示された。一方、外科領域では BQ の設定について領域内で検討することとなった。薬物療法領域では既存ガイドラインを参考に整理を進め、病理領域では BQ または解説としてまとめる方向性が示された。放射線領域についても必要に応じて BQ として整理する方針が確認された。

また、推奨の設定が困難な課題については、今後の研究課題として FRQ を設定する案が提案され、各領域で候補を検討することとなった。

■ ガイドライン作成スケジュールについて

各領域責任者を中心に CQ・BQ 案を作成し、初回案では候補数や全体のバランスを確認する方針ことが確認された。

CQ・BQ 案は 2026 年 9 月末を目途に事務局へ提出し、委員および SR 委員へメールで共有する。メール審議を経た後、次回委員会において CQ・BQ

の方向性を最終的に整理することとなった。

最後に、岡委員長より委員への協力依頼があり、予定時刻となったため閉会した。